



講師から摘蕾作業について説明を受ける生産者ら

## 次郎柿で摘蕾 基本を再確認

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA  
伊勢玉城柿部会は5月

中旬、柿「次郎」の摘  
蕾（てきらい）講習会  
を、玉城町内の園地2  
カ所で開催した。合わ  
せて22人が参加した。

講習会では、県中央

農業改良普及センタ  
ーの担当者が講師を務  
めた。参加者は、摘蕾  
作業の基本、効果・時  
期などの説明を再確  
認。園地を回ってつば  
みの付き具合を確認し  
て作業に取り組んだ。

JAの担当者は「摘  
蕾作業は、果樹栽培で  
不可欠な作業。講習会  
で基本を再確認し、摘  
蕾・摘果作業を適正に  
行うことで、品質の向  
上につなげてほしい」  
と期待する。

柿「次郎」は、シャキ  
シャキとした歯応えが  
特徴の甘柿だ。JA管内  
では、部会員70人が  
約23畝で栽培。中京、  
県内の市場に出荷する。